

# 長坂道子 美しく、サステナブルに Sustainably Elegant

人権・環境意識の高いスイスに暮らす長坂さんは、リシェス・オブリージュの名づけ親でもあります。自身が選り抜いた上質なフェアトレード作品を通し、サステナブルな生き方とスピリットについて考えます。



ながさか・みちこ ●作家・ジャーナリスト。京都大学文学部哲学科卒業。25ans編集部に約3年在籍後、1988年渡仏。欧米数都市に住み、執筆及び国際福祉のボランティア活動を続ける。主な著書に「フランス女」(マガジンハウス)、「世界一ぜいたくな子育で」(光文社新書)。2008年、スイスでハイエンドフェアトレードのセレクトショップを起業。商品や情報の発信を通じ、サステナブルなショッピングスタイルを提案

## 着る人の顔まで見えてくるような……

サステナブルな生き方とファッションとは、そもそも両立がものすごく難しいものであることを、まず最初に宣言しておく。なぜなら、一方は「持続可能」ということであるのに対し、もう一方は「移り変わり」こそが、その存在理由だから。「上等のものを長く持つ」とか「流行に左右されない一生もの」という言い方も、もちろんあるにはある。でもそれは、女のファッション道楽においては、ある種の「言い訳」「自己正当化」的な言説に過ぎず、やっぱり、人は、しばらく着たら飽きるし、全身ヴィンテージ(というか、数年前のもの)というのでも、なかなか勇気のいること。「長持ちアイテム」は、ポイント的に使う以外にはなかなか難しく、そのポイントにしたところで、数年後にはお蔵入りというのが、本当のところだろう。

それじゃあ教えないのか、といえば、まったくそういうわけでもない。たとえば近頃流行のファスト・ファッション。安い価格の背景には、当然それなりの理由があるわけだ、先進国在住者の「お得感」は、地球の反対側(あるいは、お隣の国)における想像を絶する搾取の上にはじばして成り立っていることを、まずは知識として知っておくこと。その上で、こうしたアイテムとの自分なりの付き合い方を決めること。過激に全部排除するもよし、ときどき利用するもよし。自分のライフスタイルや台所事情、そして「着飾りたい」という自然な欲求。こうしたものを足し算引き算しながら、自分専用のバランスをつくれれば、と私は思う。

「しずくを一滴ずつ、継続的に落とす」といって、継続的に落とす。逆に高価なブランド物は、その価格を正当化するデザインや手仕事、素材といったものを伴っていることが多いけれど、そうでないものに「ただただ高価なだけ」という場合も、もちろんたくさんある。かといって、人が服を買うときには「夢を見させてもらう」部分も多分にあるわけだ、こうした「種の」は「種」に對しあながち「ノー」ともいえないところが、ファッションのファッションたる所以であり、その楽しさでもあるのだ。

毎シーズン、私たちは服を買う、靴やバッグを買う。そうした営みを何年も、何十年も続けていく。そういうところに「サステナブル」のしずくを一滴、また一滴と、それこそサステナブル(継続的)に少しずつ落とす。要は、そういう買い物の仕方をしていけばいいのではないかと。

さて、今月ご紹介するアイテム。これはそんな「しずくを一滴」になり得るものだと思う。上質のオーガニックコットンにフランスのデザイン、そしてインドの女性たちの手仕事加わって実現したブラウス。デザイン違いがいくつもあっても、色はこの微妙なラベンダーグレーと白の二色だけ。透明な製造過程によって作り手の顔が見えるのはいうまでもなく、これを手にとつて着る人の顔までもがなんとなく見えてくるような気がする服。優しくも力強い一滴である。



誕生して間もないフランス発のフェアトレードのファッションブランド「スイートプロッサム」は、素肌に心地よい上質のオーガニックコットンを用い、インドのアディエで熟練のお針子さんたちの手で一点一点、丁寧に縫製されたもの。手刺繍やレースなどのディテール、軽く透明感のある素材、そしてモード風にも淑女風にも着られるロマンチックなボヘミアンスタイルが好評。ブラウス205スイスフラン。※1スイスフラン¥83(2010年5月現在) ●お問い合わせ「Fairy Tale Select」info@fairytalesselect.com http://www.fairytalesselect.com